

南阿蘇の「おいしい」をカタチに～新たな人材育成と商品開発～販路開拓支援

南阿蘇村商工会 福田 康秀

事業者名：ちきゅうや

業種：飲食業



万能調味料：ちきゅうやスパイス

担当者コメント

販路開拓など伴走支援を実施でき、持続化補助金の採択も受けることができた。今後も伴走支援を実施していきたい。

支援テーマ	
	創業
	経営革新
	地域資源活用・新連携
	農商工連携・6次産業
<input type="radio"/>	販路拡大・販路支援
	海外展開・海外販路開拓
	事業再生・再チャレンジ
	事業承継
	ものづくり
	雇用・労務関係
	資金繰り
<input type="radio"/>	持続化補助金
	その他

支援前の課題

【企業概要】

昭和 55 年創作家庭料理の店として熊本県坪井にて創業。昭和 58 年熊本市中心部の上通、平成 2 年に熊本市役所裏に移転し、約 24 年間営業。その後、平成 27 年 1 月に阿蘇郡南阿蘇村に移転し営業。「とりの唐揚げ」を中心に手作りの創作家庭料理を提供している。平成 30 年にレトルト化した阿蘇のあか牛のハヤシルーはじめ、あか牛のビーフシチュー（冷凍商品）、万能調味料「ちきゅうやスパイス」は EC サイトやふるさと納税返礼品他、道の駅等にて販売するなど、製造業にも力を入れている。

（創業）1980 年 4 月

（代表者の年齢）70 歳

（現状分析）・強み→県内産のものを使った「安心安全」な商品を提供、知名度

・弱み→加工品、惣菜製造場所が手狭

・機会→コロナ禍で浸透してきた「おうち時間」

・売れ筋商品・顧客ニーズの把握→「ハーブ鶏の唐揚げ」・コロナ前と比べ「おうち時間」が増え、テイクアウトや宅配サービスなどの中食サービスの利用者の増加。

・競合する店舗等→創作家庭料理を提供する飲食店

【支援課題・支援計画】

（支援課題） 物産展などにおける販路開拓活動

（短期計画） 惣菜製造の本格稼働

（中長期計画） 飲食業と製造業の両立

支援内容

フェーズ1 物産展出店支援

伴走型補助金を活用し、令和4年10月13日熊日会館びづれす広場にて「南阿蘇・高森・西原マルシェ」の物産展に出展した。まず、出展に関する事前準備等の支援を行った。当社は一定のファンが存在しているが、事業者様の積極的なアピールにより、新規のお客さまも獲得でき、知名度アップとリピーターの確保ができた。また、当日は中小企業診断士の専門家が状況調査を行い、ブースのレイアウトや販売方法の提案を行い商品のPR支援を行った。

フェーズ2 小規模事業持続化補助金計画書策定支援

事業計画書作成において、取り組む内容や必要な情報をヒヤリングしブラッシュアップしながら計画書の作成支援を行った。新たに惣菜製造業を行う計画であった為、既存商品の生産効率化及び売上増加をはじめ新たに雇用及び人材育成にも取り組むことを計画書に落とし込んだ。

(進捗・成果)

物産展出展支援では積極的なアピールにより、新規のお客さまの獲得ができた。今後につながるような支援ができた。また、小規模事業者持続化補助金による補助事業の効果も今後ますます出てくるものと思われる。引き続き伴走型支援を実施していく。



事業者様の声

熊日会館びづれす広場での「南阿蘇・高森・西原マルシェ」イベント等に出展することにより、たくさんの方に商品を知ってもらえきっかけとなり、新規顧客の獲得ができました。また、持続化補助金の活用により、新たな販路の拡大に取り組むことが出来ました。

取組の中で、おすすめしたい自社のアピールポイント

万能調味料の「ちきゅうやスパイス」はECサイトやふるさと納税返礼品他、道の駅等にて販売しております。是非お試しください。

